

間伐針葉樹の薪を販売

岡崎の唐沢さん「環境に優しく」



針葉樹の薪販売を始める唐沢さんら＝岡崎市千万町町で

岡崎市千万町の林業家唐沢晋平さん(三三)が、間伐したヒノキな

ど針葉樹を使った「みかわエコ薪」の販売を始めた。



同市の山間部では十年以上、間伐されてい
ない放置人工林が、人
工林全体の面積の四割
に上る。間伐された木
材も八割程度はそのま
ま山に捨てられてお
り、有効活用が課題と
なっている。

みかわエコ薪には、唐沢さんや林業に関心のある若者らでつくる「里山樹働隊」のメンバーが切り出した間伐材が使われる。

針葉樹の薪は広葉樹に比べて密度が低く、火持ちが悪いなどの欠点もある。しかし、最近針葉樹に対応したストーブが増え、針葉樹の価格の安さや林業者の支援の視点からも長野県などでは針葉樹の薪の普及が進みつつある。唐沢さんは「すぐが出やすいなどのイメージもあるが、しっかり乾燥させた薪であれば問題はない。地元産の木材を使うことで運搬費も下げ、環境に

も家計にも優しい薪です」とPRしている。価格は一パレット(〇・七立法)で九千円。市内の送料は一

パレット当たり五千円。市外への配送も可能。唐沢さん1109(〇・七立法)で九千円。市内の送料は一(森田真奈子)